

春のどかな海には、コウイカのんびりとした姿がよく似合う。目を閉じているように見えるのはしかし、眠っているわけではなく、強すぎる陽差しを避けているだけだ。

コウイカは学名をセビア色といふ。いわゆる「セビア色」は、コウイカの墨で作ったインクに由来する。イカ墨のインクは時間がたつにつれて薄茶色になる。また、コウイカは水槽で作られたインクに由来する。

コウイカ

色くなる。この色がセビア色の語源だ。

コウイカを水槽で飼うとなれば、名前は迷わずコウイカは実に可憐だけ

イカ墨インクはセビア色の語源

り、最後は自分で汚した水槽の壁に激突して死んでしまうだろう。小さい

魚たちの格好の獲物だ。

タコの墨が一時的な煙幕

として機能するのに対

して、自分はとつとと逃げる。

でもそんな戦術は、広い

海では有効でも、狭い水

槽の中では通用しない。

そんなわけで、コウイカ

は、海の中で眺めて楽しむ

か、もしくは食ってしまう

のが一番だ。コウイカ

は、釣つてすぐよりも一

日くらい寝かしたほう

若狭湾水中散歩

京大水産 実験所 益田 玲爾

13



写真は体長15cmのコウイカ=長浜、水深4m

うまみが出る。アミノ酸の成分が変わるからだ。若狭湾ではしばしば、つがいと思われるコウイカを見かける。イカの恋路後、一筋ほど離れたところにひとまわり大きいコウイカを見つめた。

じた。